

Sprint ネットワーク インターフェイス コントローラのインストールと設定ガイド

目次

[概要](#)

[前提条件](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[表記法](#)

[ICM システムとの関係](#)

[ICM ネットワーク](#)

[スプリント ネットワークとの関係](#)

[通信リンク](#)

[ハードウェア セットアップ](#)

[基礎設定](#)

[Eicon DPNA カードインストール](#)

[Eicon DPNA カード設定](#)

[ソフトウェア セットアップ](#)

[Sprint NIC アプリケーション ソフトウェア](#)

[顧客配信前の最終テスト](#)

[ルータの接続テスト](#)

[SCP シミュレーターテスト](#)

[フィールドインストール ステップ](#)

[ルータの接続を確認して下さい](#)

[X.25 リンクを接続して下さい](#)

[スプリントは確認 テストをリンクします](#)

[Windows NT 4.0 サーバソフトウェア ソフトウェア インストールのための Eiconcard 接続](#)

[関連情報](#)

概要

このドキュメントでは、カスタマー システムの一部として Sprint ネットワーク インターフェイス コントローラ (NIC) のインストールと設定の手順について説明します。 Sprint NIC は Cisco Unified Intelligent Contact Management (ICM) 企業 Central Controller インストールの一部です。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- ICM Central Controller インストール
- Microsoft Windows NT /Windows 2000 ハードウェア および ソフトウェア インストール

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づくものです。

- すべての ICM バージョン
- Windows NT/Windows 2000

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されたものです。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな（デフォルト）設定で作業を開始しています。ネットワークが稼働中の場合は、コマンドが及ぼす潜在的な影響を十分に理解しておく必要があります。

表記法

ドキュメント表記の詳細は、『[シスコテクニカルティップスの表記法](#)』を参照してください。

ICM システムとの関係

ICM ネットワーク

Sprint NIC は Central Controller の両方の側で 1 プロセスを実行します。Sprint NIC は ICM 標準 Message Delivery System (MDS) インターフェイスによって共存ルータプロセスと通信します。Sprint NIC プロセスのそれぞれは他のナレッジなしで動作します。Sprint NIC プロセスは両方とも同時にスプリント ネットワークからのルート照会を処理できます。

スプリント ネットワークとの関係

スプリント Intelligent Network Service 伝達 システムはスプリント サービス制御点 (SCP) スプリント ネットワークへの外部にある顧客の Routing Processor (SiteRP) の接続を有効にします。このモデルでは、ICM は SiteRP として機能します。しかし Sprint NIC は SiteRP 特定の処理すべてを行います。

通信リンク

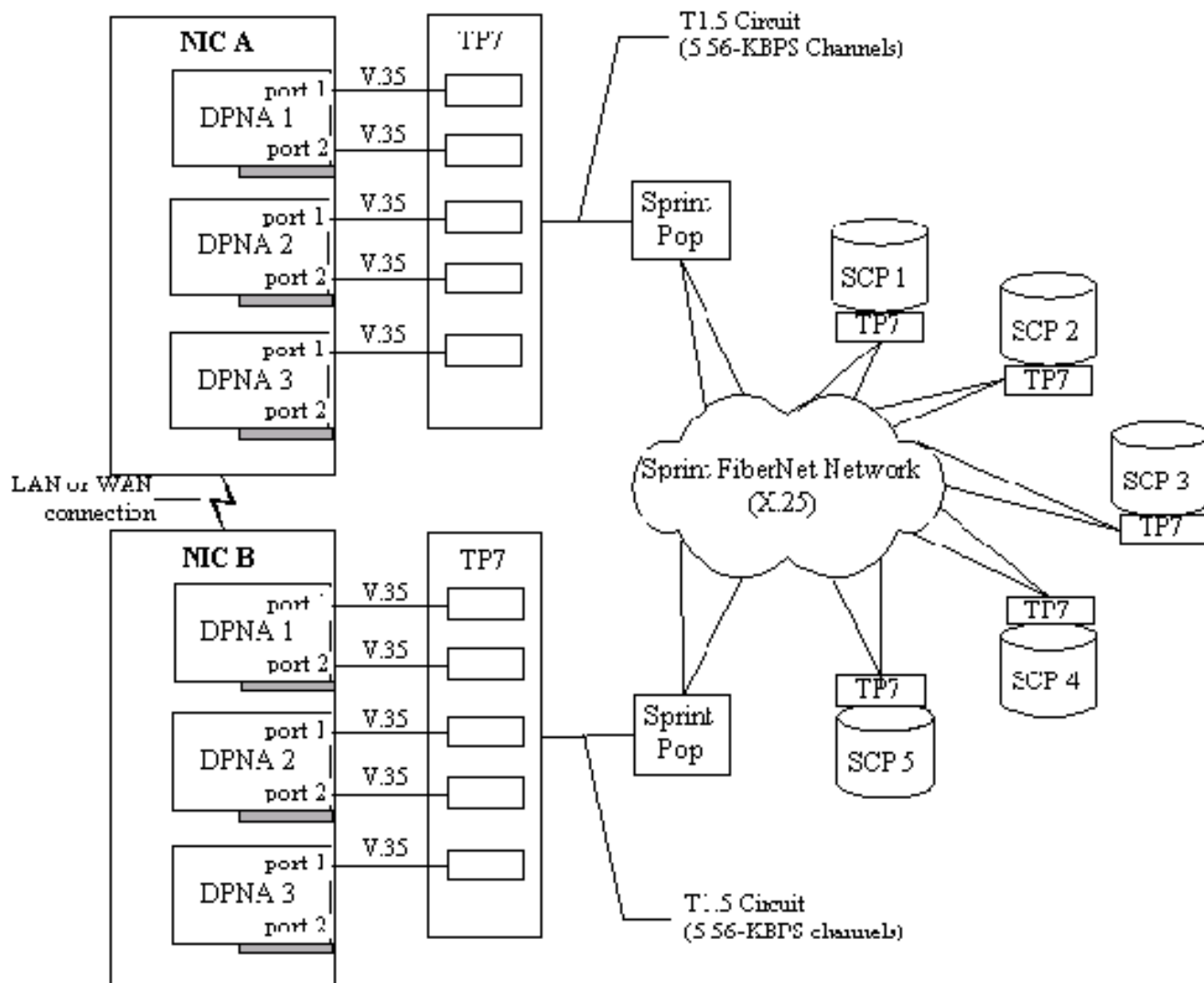
スプリント ネットワークに 5 SCP まであります。二重にされた ICM 環境では、各 NIC は 5 つの 56 キロビット/秒 ポイントツーポイント 通信リンクによってスプリント ネットワークに接続します。Sprint FiberNet ネットワークで提供される各 SCP のための 1 があります。各 NIC は 3 Eicon テクノロジー Dual-Port Network Adapter/PC (DPNA) カードが含まれています。DPNA カードの 2 つのポートはポート 1 として指定され、ポート 2.ポート 1 はカードの上端に最も密接のポートです。ポート 2 はカードの PC コネクタ エッジに最も密接のポートです。

6 つの DPNA ポートのうちの 5 つが、SCP への接続に使用されます。残りの DPNA ポートは使用されず、無効になっています。Cisco は 5 つの 9 フィート ケーブルを供給します。それぞれは V.35 インターフェイスの使用と DPNA ポートからスプリント TP7 デバイスに接続します。

ケーブルに DPNA カードにオス型 DB-26 コネクタおよび TP7 デバイ스에規格オス型 34 ピン V.35 コネクタがあります。また、5 つの TP7 デバイ스의代わりに SCP に Sprint NIC を接続するために 1 つのチャンネルバンク デバイスを使用できます。

通信リンクはネットワークの SCP にルーティングされます。 [図 1](#) この設定を示します。

図 1：二重にされた ICM ネットワークの Sprint NIC 設定



シンプルレックス ICM 設定では、冗長リンクによって 5 SCP に Sprint NIC を接続して下さい。

注: シンプルレックス 設定のシンプルレックス リンクはまたサポートすることができます。

このセクションの設定では、NIC は 5 DPNA カードが含まれています。2 つの DPNA ポートのそれぞれは各 Sprint SCP に各 NIC を接続します。シンプルレックス 設定の物理接続は二重にされた設定のための接続と同じです。

[ハードウェア セットアップ](#)

ハードウェア セットアップはスプリント NIC/Central コントローラ インストールおよび設定の第一段階です。ICM Central Controller ハードウェア セットアップの概説のための [Cisco ICM ソフトウェア コンフィギュレーション ガイド](#) (バージョン 5.0) を参照して下さい。Sprint NIC に特定必要とするこれらのステップをであるハードウェアは設定しました:

1. Eicon 3 DPNA カードをインストールして下さい。注: シンプレックス ICM 環境に 5 DPNA カードをインストールして下さい。
2. DPNA カードを設定して下さい。
3. システムをリブートします。
4. 新しい設定のオペレーションを確認して下さい。

基礎設定

スプリント NIC/Central コントローラハードウェア プラットフォームは Windows 2000 サーバを実行するマルチプロセッサ Intelペンティアム PC です。基礎 Central Controller 設定に加えて、3つの 3.5V 周辺機器コンポーネント相互接続 (PCI) 展開 64 ビット スロットは二重にされた ICM 設定の NIC に必要です。5つの拡張スロットはシンプレックス ICM 設定の NIC に必要です。

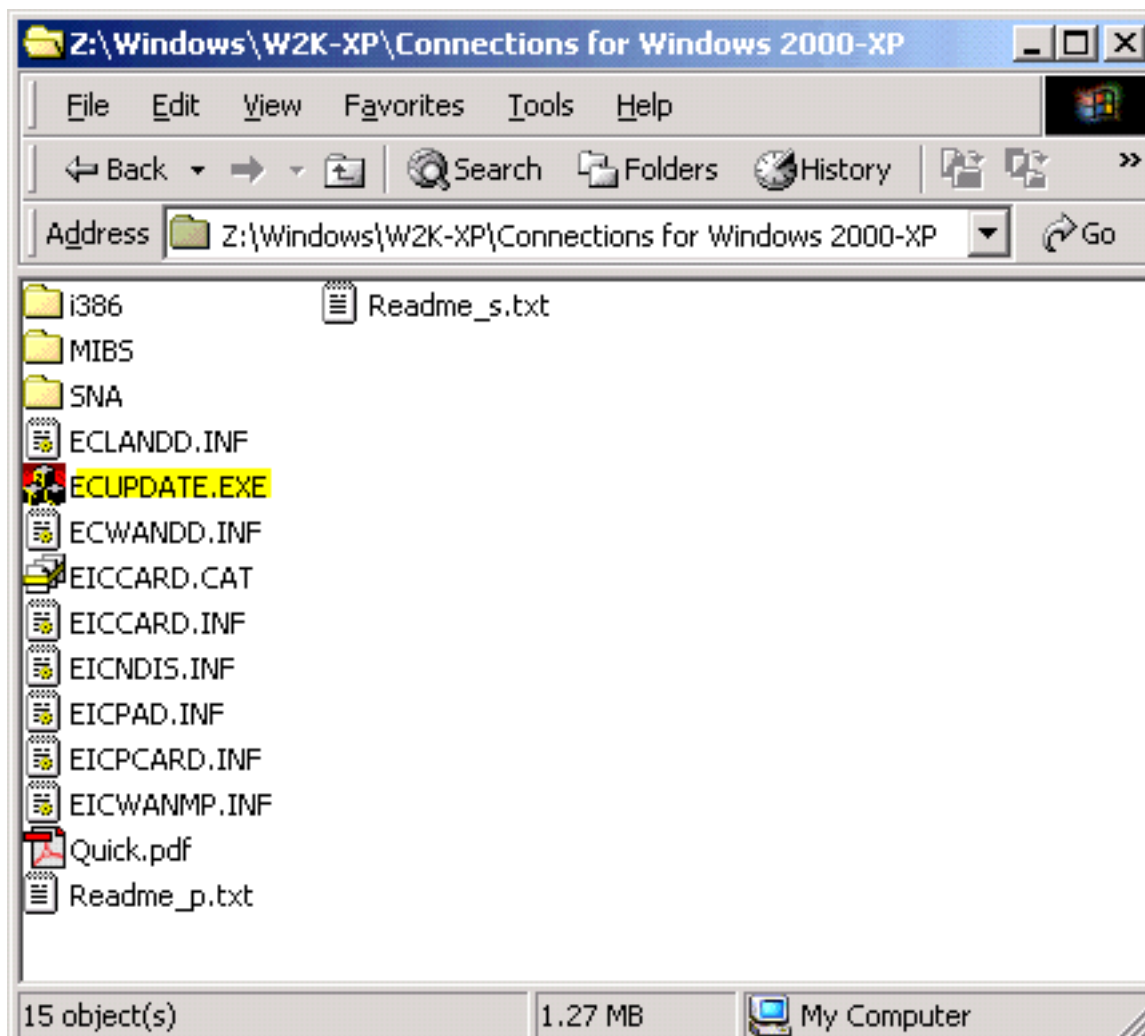
注: また Sprint NIC が Windows NT 4.0 サーバを稼動するシステムで使用する Eicon DPNA PCI カードをインストールできます。ただし、Cisco はこのインストールを推奨しません。

Eicon DPNA カードインストール

Sprint NIC は X.25 プロトコルのために Eicon 3 DPNA カードのインストールおよびカードの設定を必要とします。シンプレックス ICM 環境では、NIC は 5 DPNA カードを必要とします。DPNA/PC ボードは 3.5V PCI S シリーズ アダプタです。各アダプタは 2つの高速 V.35 インターフェイス ポートが、200 キロビット/秒までのデータ レートが可能なそれぞれ含まれています。5つの V.35 High Speed Interface (HSI) モデムケーブルは各 NIC に必要です。シンプレックス ICM 環境では、10 のケーブルは必要です。

次の手順を実行します。

1. 利用可能な 64 ビット PCI スロットに DPNA カードを挿入して下さい。
2. Windows 2000 /Windows XP S シリーズ ソフトウェアのための Eiconcard 接続をインストールして下さい。Central Controller PC で DPNA カードおよびデバイスドライバインストールを完了するために Eiconcard 接続ソフトウェアをインストールして下さい。Central Controller の DPNA カードのインストールの後で、マシンを再起動し、管理者か等量としてログオンして下さい。Windows 2000 は新しいハードウェアを検出する、Found New Hardware ウィザードを開始します。Central Controller CD-ROMドライブに Eicon ユニバーサル接続スイート CD を挿入して下さい。ウィザードに従い、『Search for a Suitable Driver for My Device』を選択して下さい。すべてのその他のオプションを検索し、クリアするために CD-ROMドライブを選択して下さい。[Next] をクリックして説明に従います。Restart ウィンドウ、Eicon ドライバをアップデートした後、[図 2](#) Windows 2000 のための Z:\Windows\W2K-XP\Connections の下ですべてのファイルを -XP 表示する。最新バージョンに Eicon すべてのドライバをアップデートするために ECUPDATE.EXE を実行して下さい。注: 「Z:」 CD-ROM のドライブレターに対応します。[図 2: ECUPDATE.EXE](#)



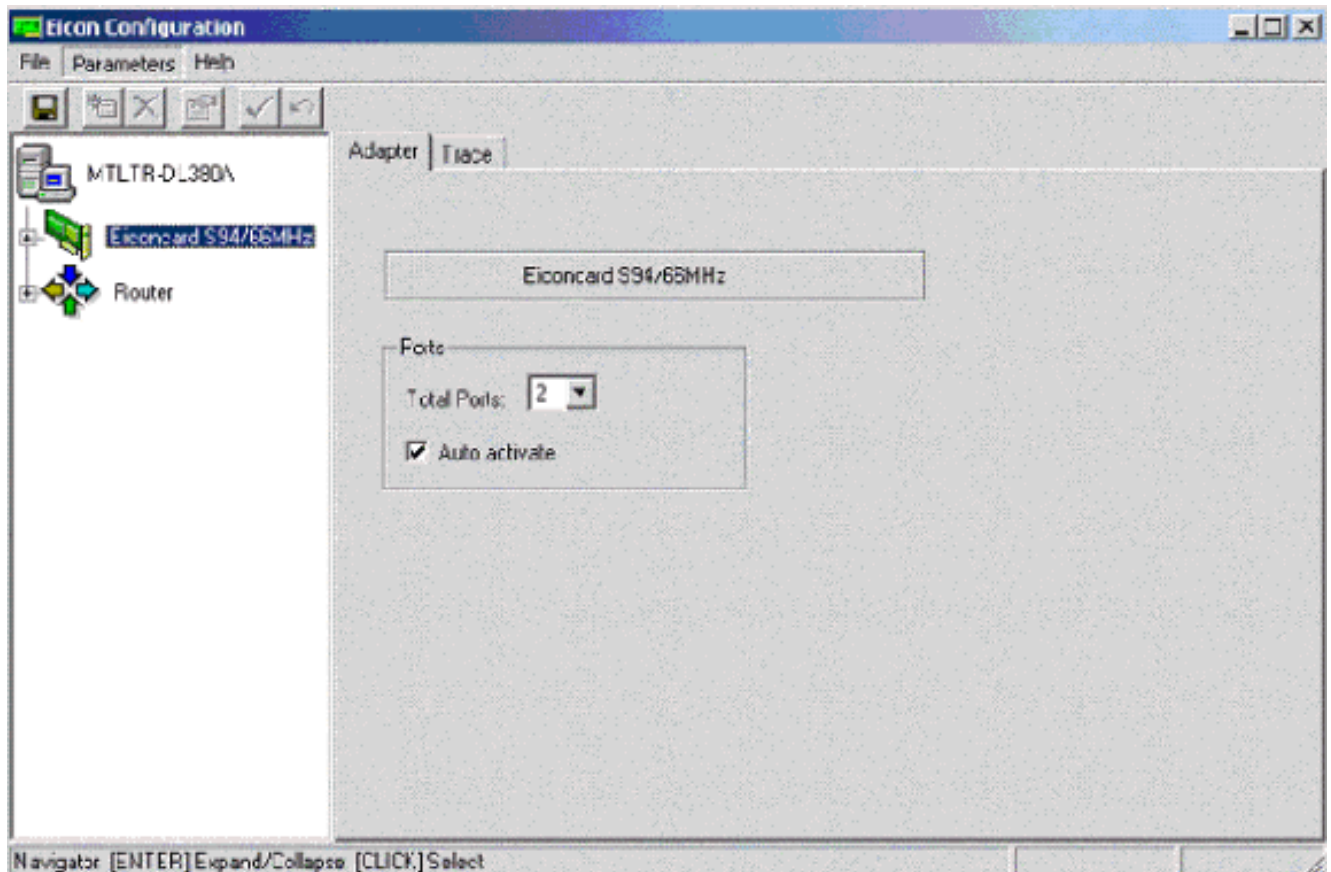
3. システムのすべてのカードの認識を確認するためにデバイスマネージャを使用して下さい。次の手順を実行します。マイコンピュータを右クリックして下さい。『Manage』を選択して下さい。『Device Manager』を選択して下さい。ネットワークアダプタを拡張して下さい。

[Eicon DPNA カード設定](#)

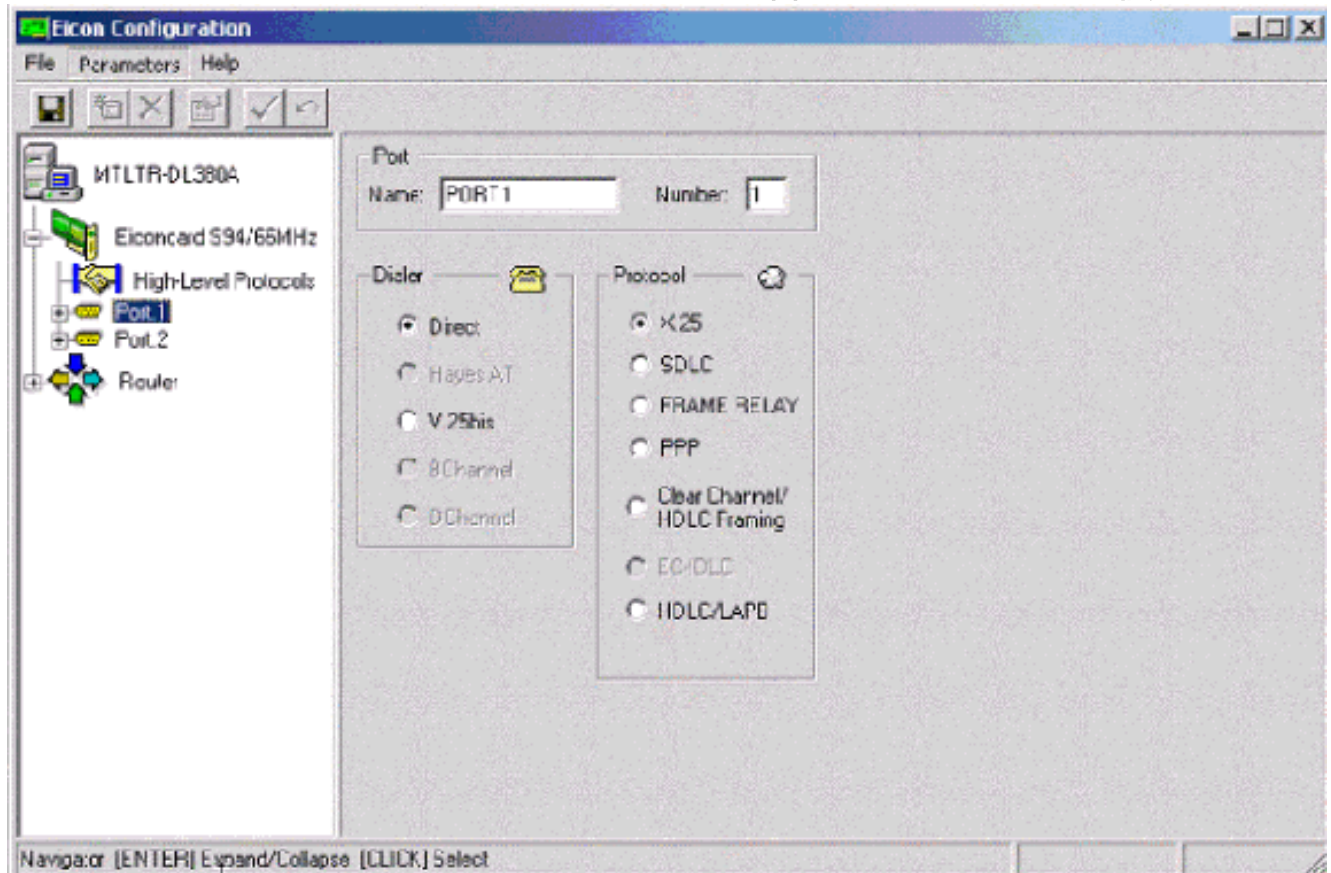
Eiconcard 接続ソフトウェアのインストールの後で、各カードを設定して下さい。カードの設定のための Eicon 標準手順に従って下さい。これらの指示を見つけるために Start > Eicon Configuration Program の順に選択して下さい。

DPNA カード ハードウェア パラメータを設定するためにこれらのステップを完了して下さい:

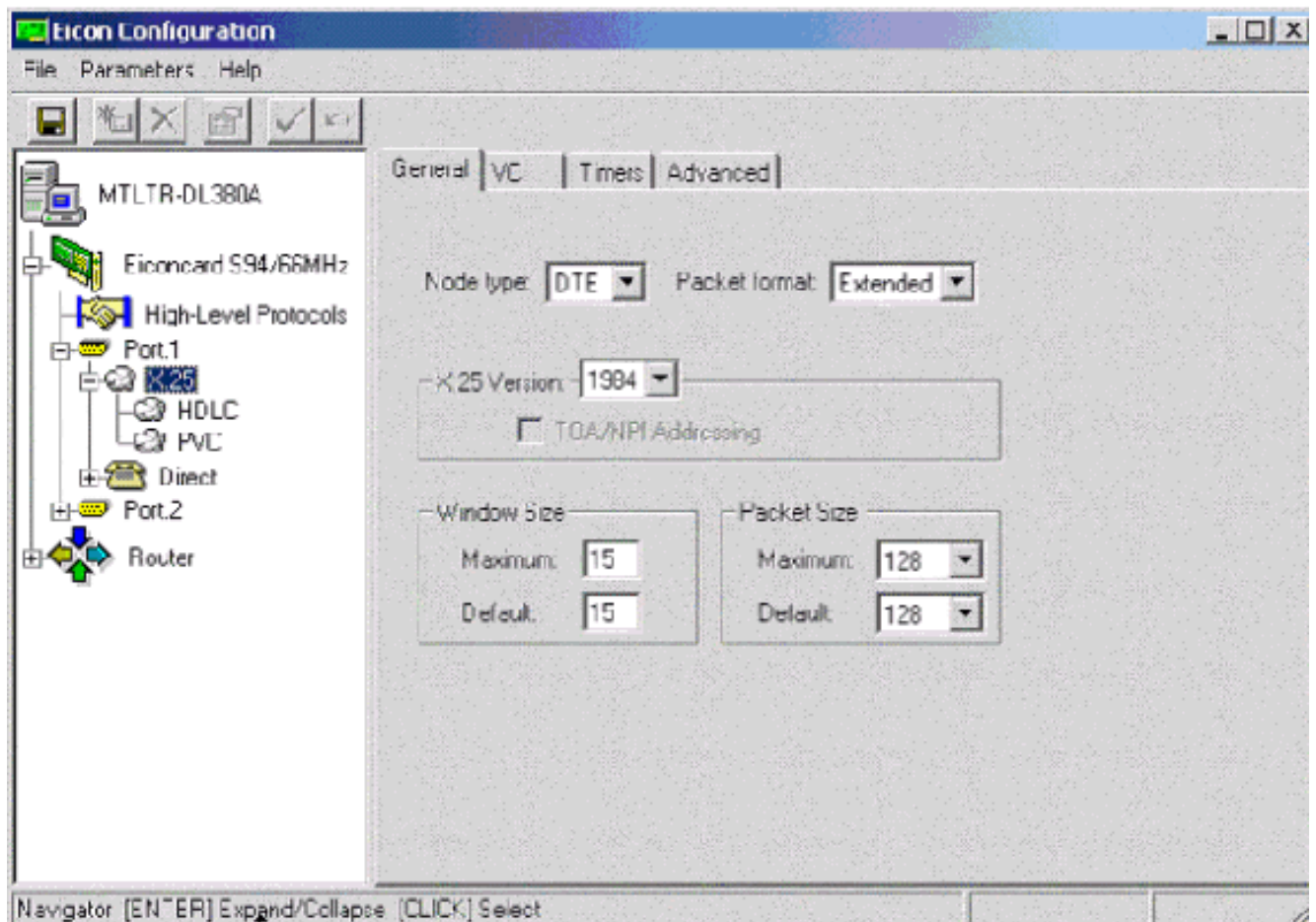
1. PCI ハードウェアを設定して下さい。Eicon 設定 プログラムはカード 番号を割り当てます。二重にされた ICM 環境のための 5 リンク 設定では、カード 3.の最初のポートだけ設定して下さい。図 3 使用中の例 Eicon 1 DPNA カードだけ。MTLTR-DL380A はホスト マシンを表します。図 3: Eiconcard ハードウェア 設定



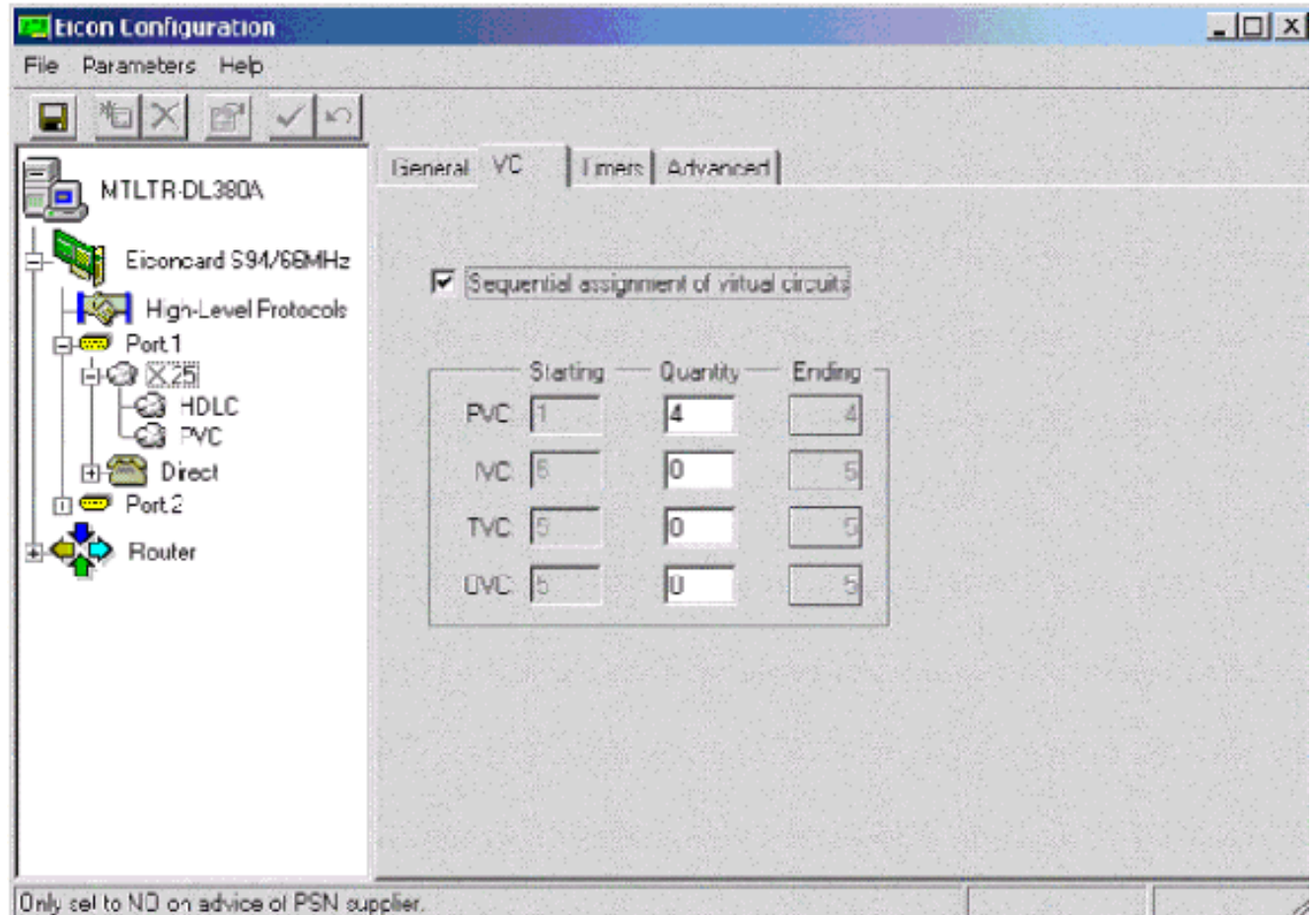
2. Eicon DPNA カードの各ポートを設定して下さい。図 4 この設定を示します。注: 2 つのポートとの Eicon 5 DPNA カードがそれぞれあれば設定されたポートに 1.から、ポート持っている第 1 ~ 10.をたとえば開始する連番があります。図 4 : Eiconcard ポート構成



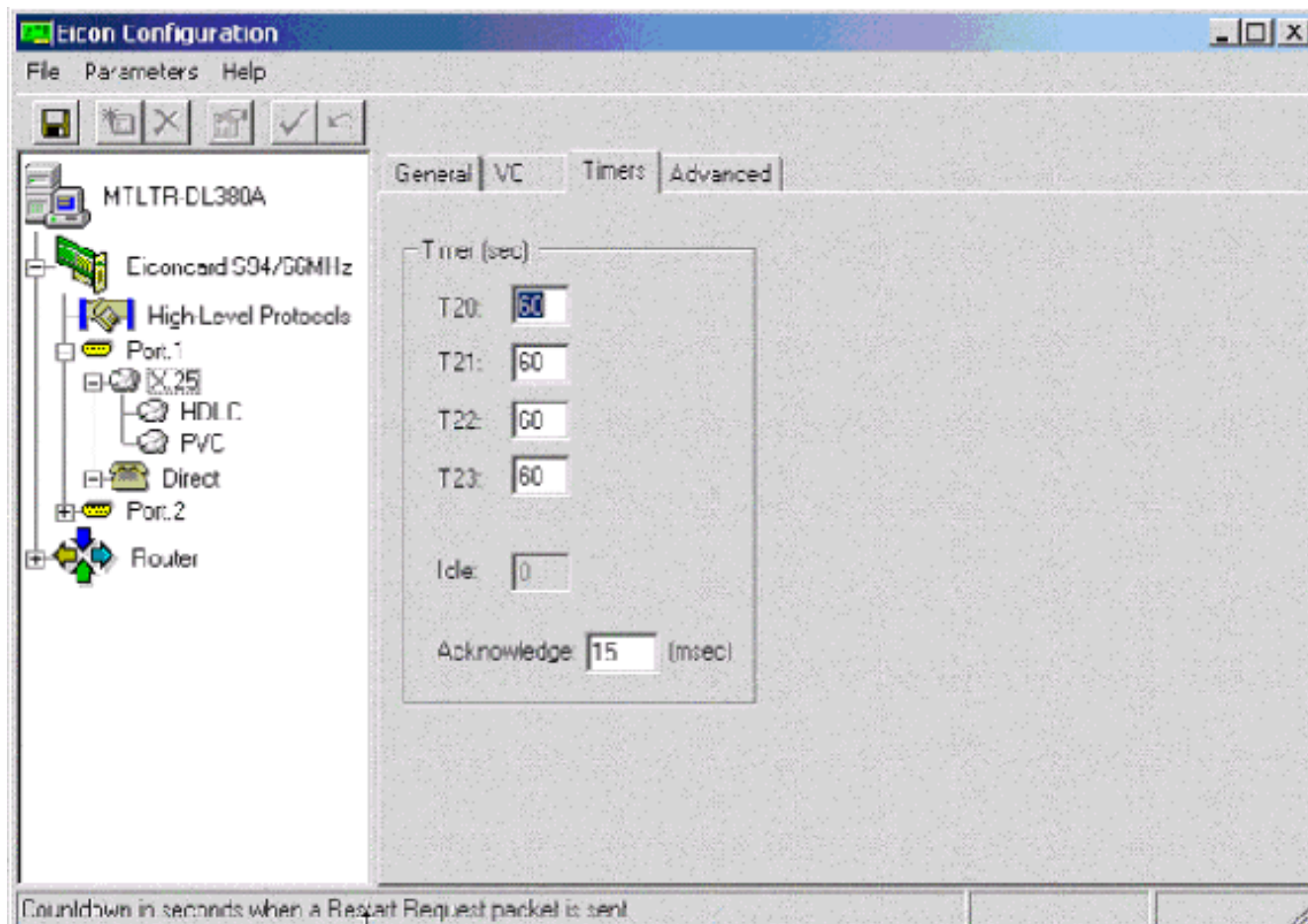
3. 各ポートのための X.25 パケット レベル プロトコル一般を設定して下さい。図 5 この設定を示します。図 5 : X.25 パケット レベル プロトコル一般的な設定



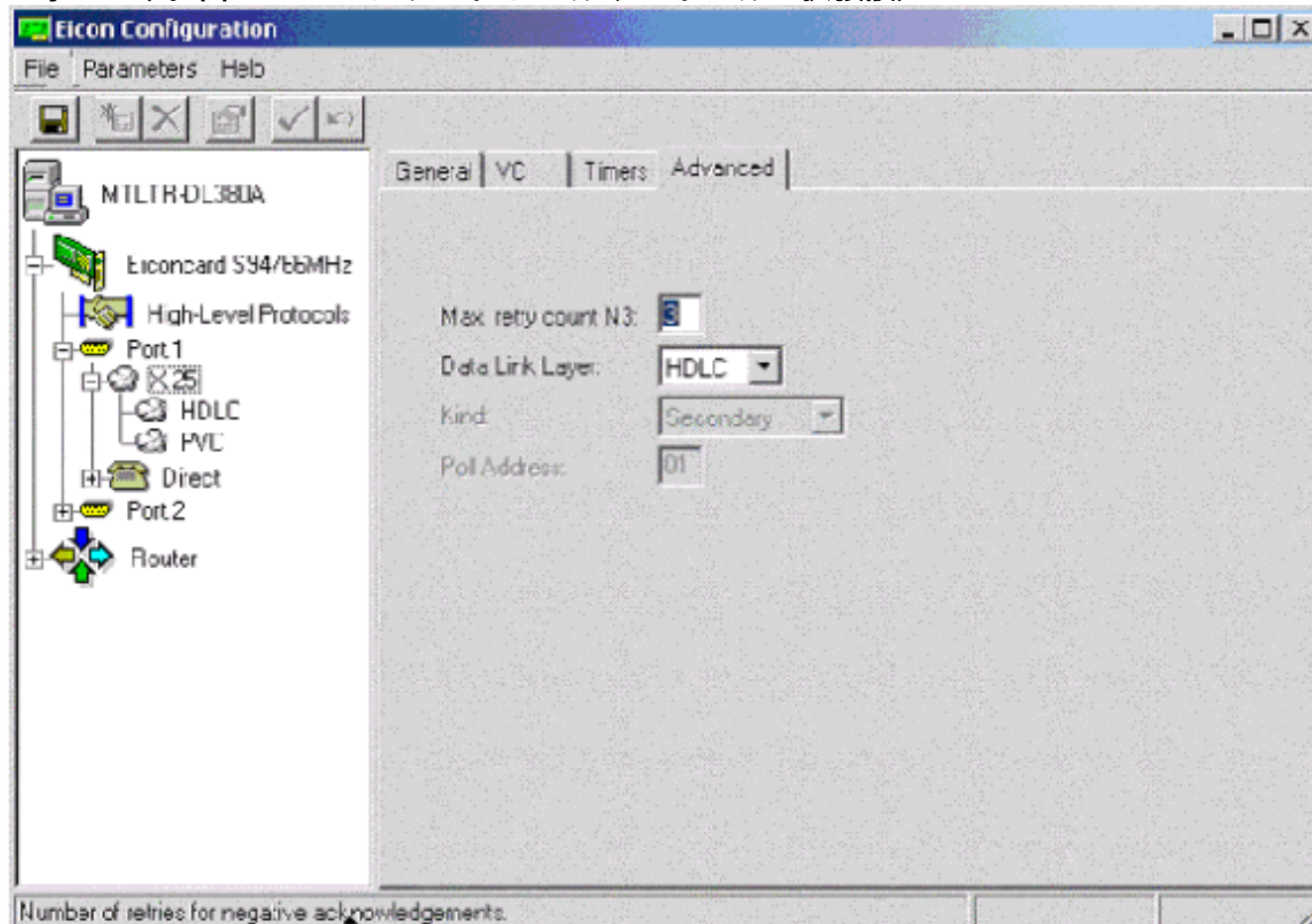
4. 各ポートのための X.25 パケット レベル プロトコル VC を設定して下さい。図 6 この設定を示します。図 6：X.25 パケット レベル プロトコル—VC 設定



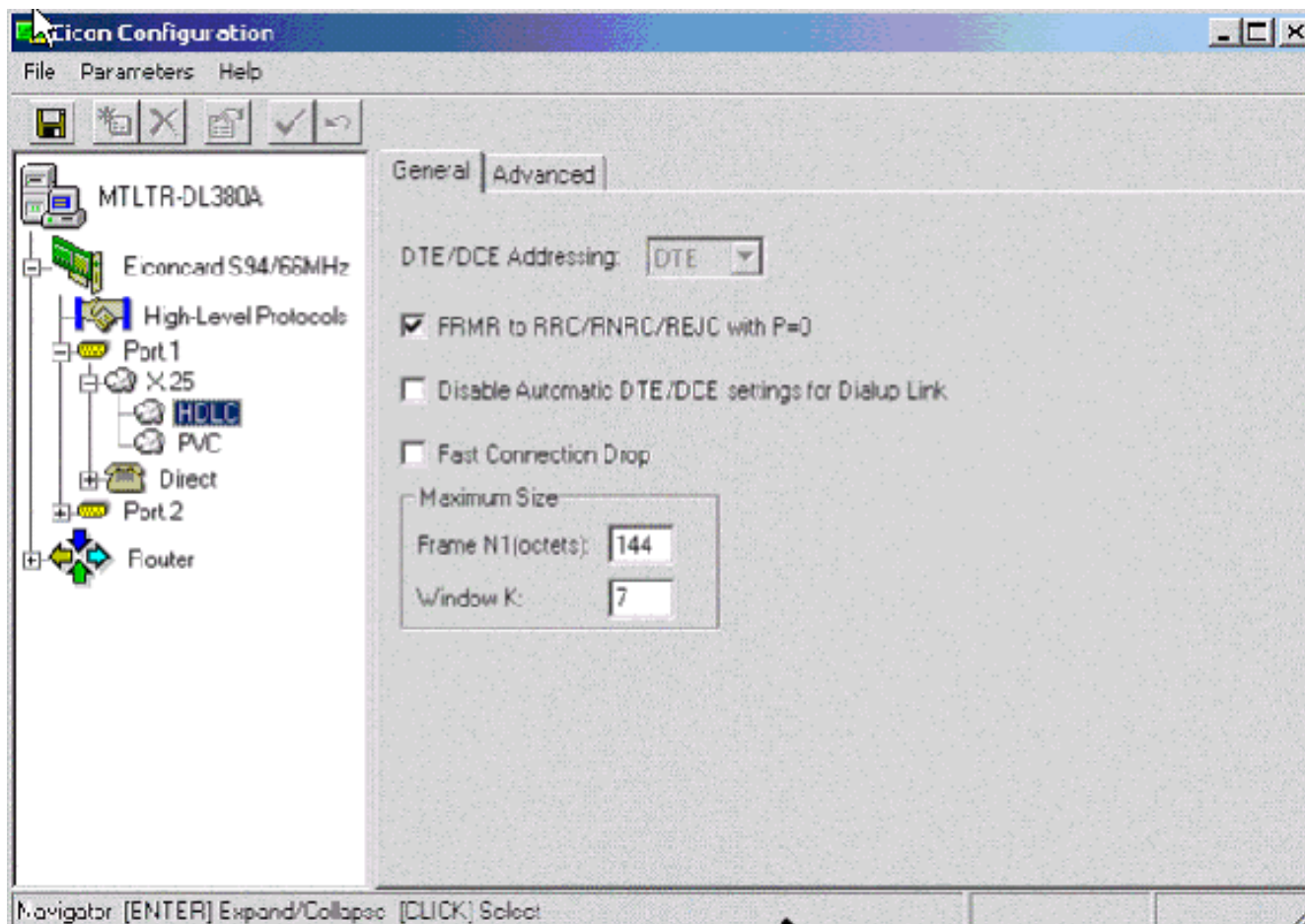
5. 各ポートのための X.25 パケット レベル プロトコル タイマーを設定して下さい。図 7 この設定を示します。図 7：X.25 パケット レベル プロトコル—タイマー 設定



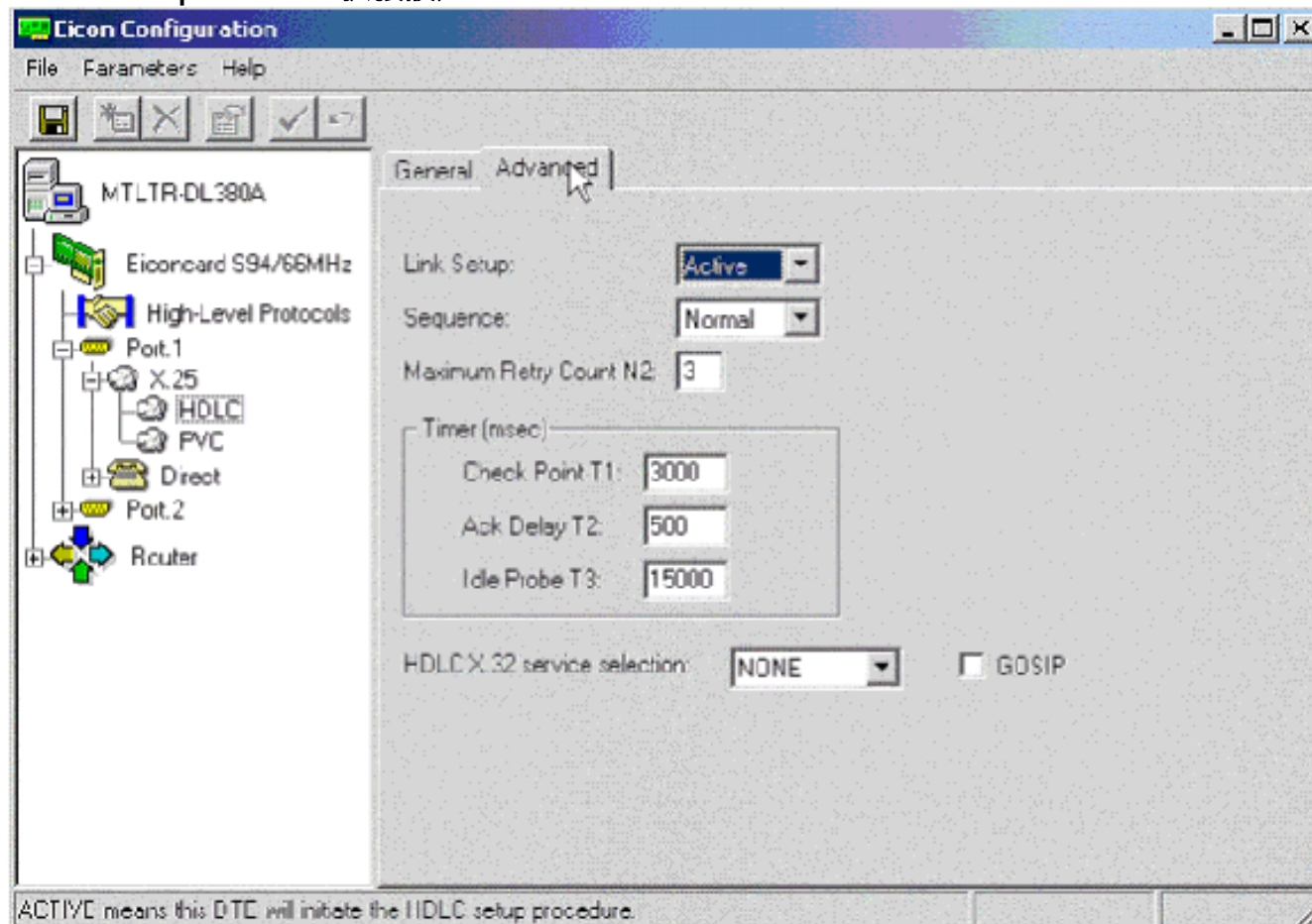
6. 各ポートのために進む X.25 パケット レベル プロトコルを設定して下さい。図 8 この設定を示します。図 8：X.25 パケット レベル プロトコル—拡張設定



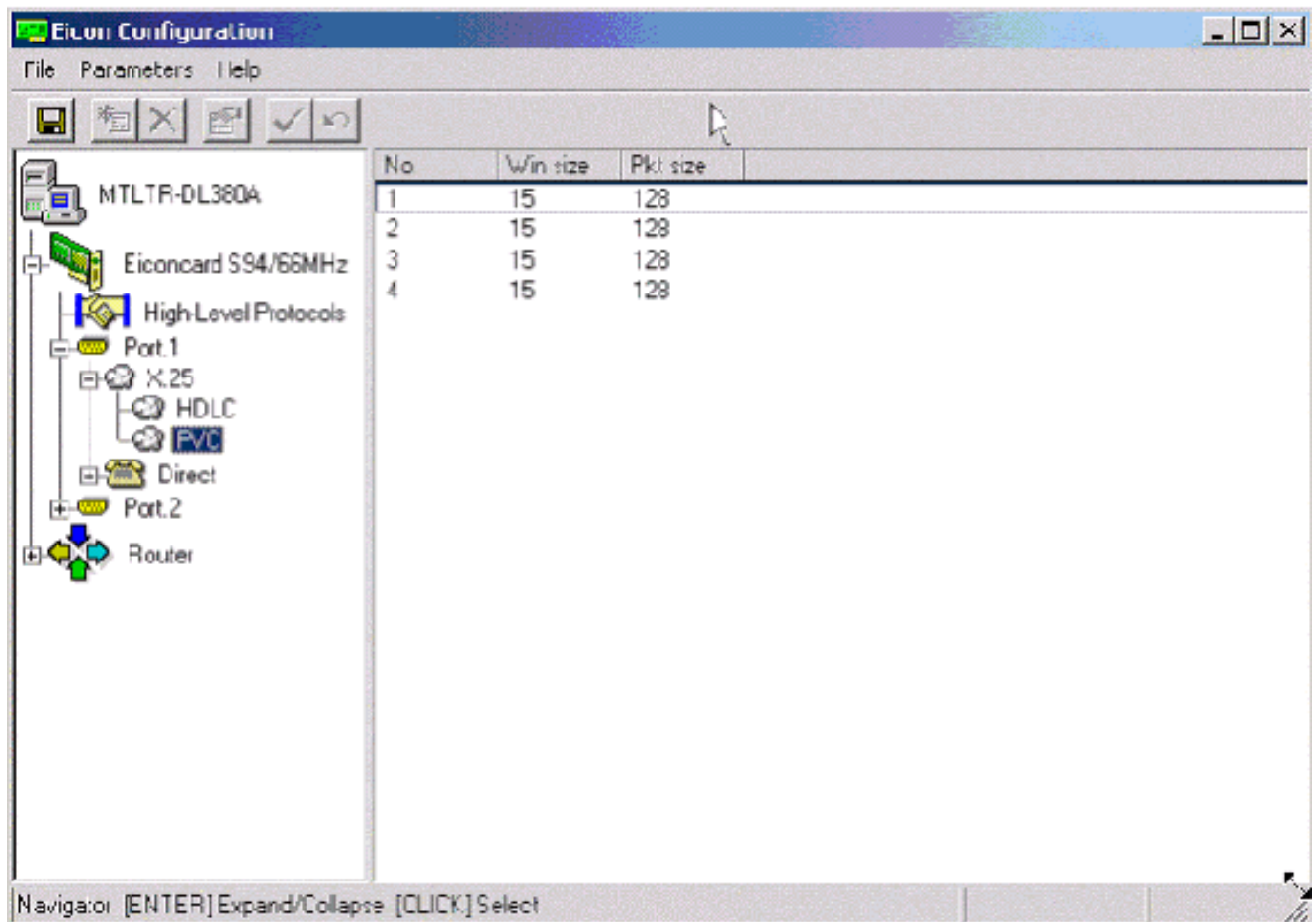
7. 各ポートのためのハイレベル データ リンク コントロール (HDLC) プロトコル一般を設定して下さい。図 9 この設定を示します。図 9：HDLC protocol — 一般的な設定



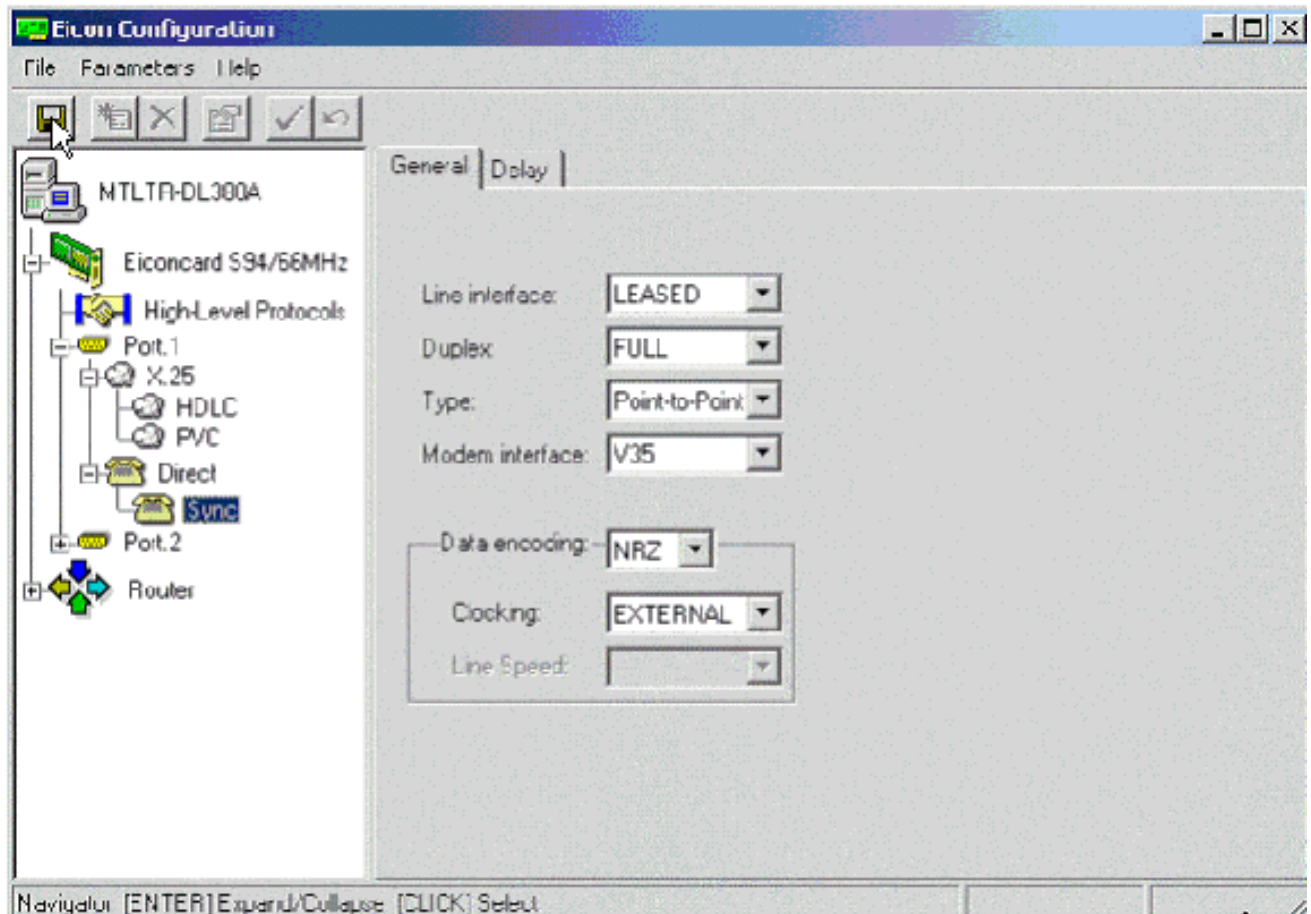
8. 各ポートのために進む HDLC プロトコルを設定して下さい。図 10 この設定を示します。図 10：HDLC protocol — 拡張設定



9. 相手先固定接続 (PVC) コンフィギュレーションを確認して下さい。図 11 この確認を示します。図 11：PVC 設定



10. 直接ダイヤラおよび同期化ドライバパラメータを設定して下さい。図 12 この設定を示します。注: コンフィギュレーション変更は直接ダイヤラパラメータには必要ではありません。
 図 12 : 同期化ドライバ設定



Eicon すべての DPNA カードを設定した後、システム デ스플레이を再起動するプロンプ

ト。

ソフトウェア セットアップ

ICM ソフトウェア セットアップは NIC インストールおよび設定の第二段階です。設定されるソフトウェアのためのこれらのステップを完了して下さい:

1. ICM Central Controller ソフトウェアインストールレーションの一部として Sprint NIC アプリケーションをインストールして下さい。
2. NIC アプリケーションを設定して下さい。

Sprint NIC アプリケーション ソフトウェア

インストール

Sprint NIC ソフトウェアインストールレーションは標準 ICM Central Controller (ルータ) インストールの一部として起こります。ICM Central Controller ソフトウェアをインストールする方法の詳細については [Cisco ICMソフトウェア コンフィギュレーション ガイド](#) (バージョン 5.0) を参照して下さい。

設定

Sprint NIC アプリケーション レベル 設定は Windowsレジストリで維持されます。NIC コンフィギュレーションパラメータを修正するために Windowsレジストリ エディタを使用して下さい。NIC のための Registry 鍵 エントリは次のとおりです:

`\HKEY_LOCAL_MACHINE\SOFTWARE\Cisco Systems, Inc.\ICM\cust_inst\RouterSide\ SPRNIC\CurrentVersion`

注: *cust_inst* はカスタマー インスタンスを示し、*RouterSide* はルータ A またはルータ B です。

Sprint NIC Registry 鍵 エントリに 3 サブ キーがあります:

- \ SPRNIC \ CurrentVersion \
- \ SPRNIC \ CurrentVersion \ RCEngine
- \ SPRNIC \ CurrentVersion \ SPRComm

Sprint NIC アプリケーション レベル 設定を始める前に、ナレッジをの持たなければなりません:

- 設定 ICM の NIC に割り当てる NIC 物理コントローラ IDNIC RCEngine サブ キー エントリの PhysicalControllerID このパラメータを設定できます。
- NIC に接続するスプリント SCP の数NIC SPRComm サブ キー エントリの NumSCPs このパラメータを設定できます。デフォルトは 5 です。デフォルトを変更しないで下さい。
- NIC が各 SCP に接続するのに使用するリンクの数NIC SPRComm サブ キー エントリの NumLinksPerSCP このパラメータを設定できます。デフォルトは二重にされた ICM 設定のための 1 です。ICM 設定がシンプレックスであり、各 SCP に NIC を接続したために冗長リンクを使用したいと思ったら 2.に NumLinksPerSCP 値を設定して下さい。シンプレックス ICM 設定の NIC はシンプレックスリンクによって各 SCP に接続できます。この場合、1.に NumLinksPerSCP 値を設定して下さい。**注:** Cisco はこれをシンプレックスリンク設定推奨しません。
- NIC に接続する各 SCP のための SCP IDスプリントからのこの情報を得て下さい。NIC SPRComm サブ キー エントリの SCPn_ID このパラメータを設定できます。各 SCPn_ID は

DPNA カードポート数に対応します。たとえば、SCP1_ID は Eiconcard 1.のポート 1 に接続する SCP を識別します。デフォルト SCP ID は NIC SPRComm サブ キー エントリで前もって構成されました。Eiconcard ポートからの SCP への物理接続が SPRComm レジストリ サブ キー エントリの設定された SCP ID と一致することを確認することを忘れないで下さい。

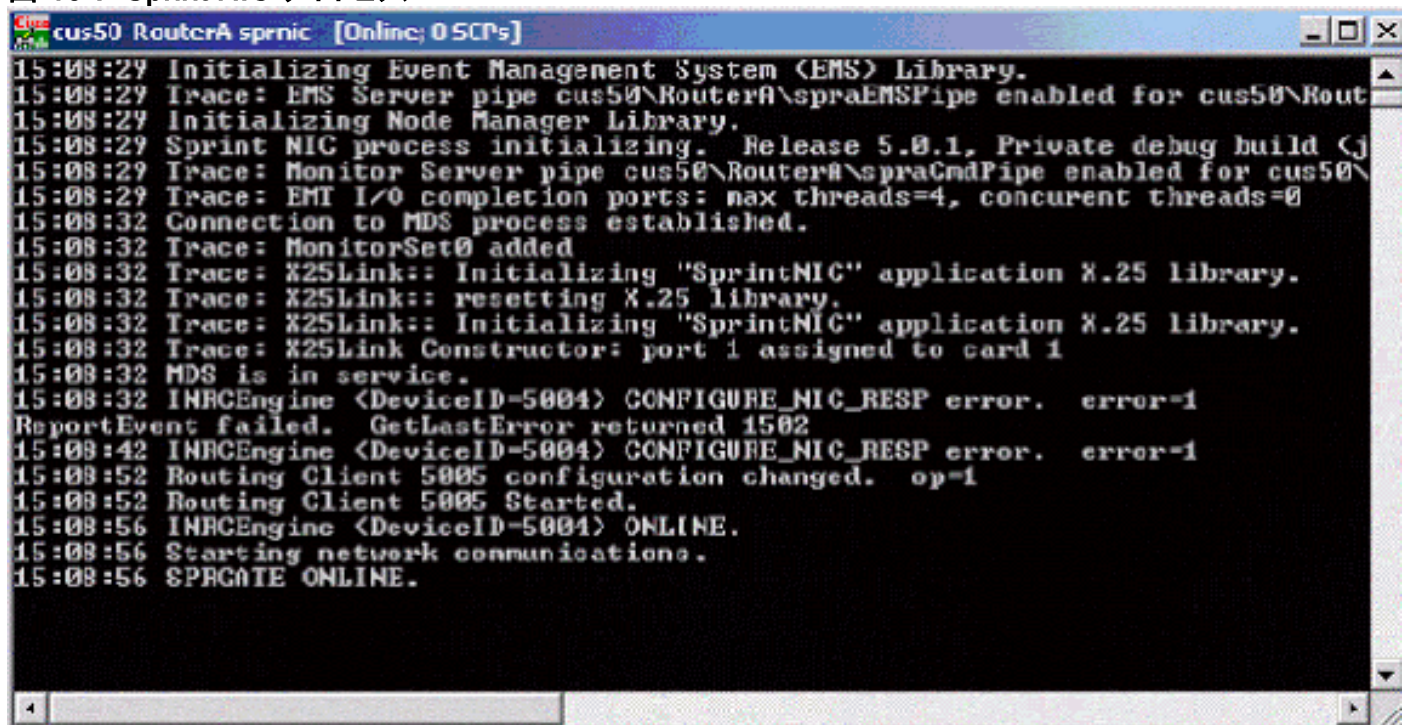
- X.25 各リンクのために使用する PVC の数NIC SPRComm サブ キー エントリの SCPnMaxPVCs このパラメータを設定できます。デフォルトは 4.です。デフォルトを変更しないで下さい。
- 照会メッセージのバージョン、各 SCP のために使用する機能 インジケータがある場合またはない場合、スプリントはリンクのプロビジョニングするの時にこの情報を規定します。NIC SPRComm サブ キー エントリの SCPnUseFeatureInd このパラメータを設定できます。現在、スプリントがサポートする唯一の照会メッセージバージョンは機能 インジケータなしにバージョンです。デフォルト SCPnUseFeatureInd 値は 0 です。デフォルトを変更しないで下さい。

顧客配信前の最終テスト

ルータの接続テスト

NIC インストールおよび設定をテストし ICM Node Manager サービスを始めて下さい。ICM Node Manager サービスを開始した後、NIC コマンド ウィンドウは情報を [図 13](#) 表示する。

図 13 : Sprint NIC プロセス



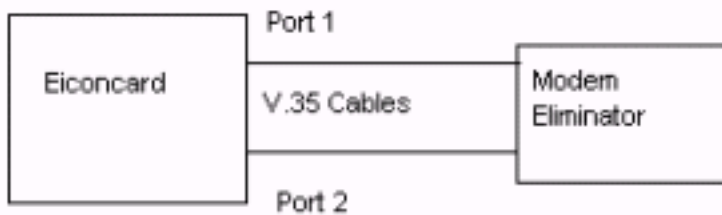
```
cus50 RouterA sprnic [Online; 0 SCPs]
15:08:29 Initializing Event Management System (EMS) Library.
15:08:29 Trace: EMS Server pipe cus50\RouterA\spraEMSPipe enabled for cus50\Rout
15:08:29 Initializing Node Manager Library.
15:08:29 Sprint NIC process initializing. Release 5.0.1, Private debug build (j
15:08:29 Trace: Monitor Server pipe cus50\RouterA\spraCmdPipe enabled for cus50\
15:08:29 Trace: EMI I/O completion ports: max threads=4, concurrent threads=0
15:08:32 Connection to MDS process established.
15:08:32 Trace: MonitorSet0 added
15:08:32 Trace: X25Link:: Initializing "SprintNIC" application X.25 library.
15:08:32 Trace: X25Link:: resetting X.25 library.
15:08:32 Trace: X25Link:: Initializing "SprintNIC" application X.25 library.
15:08:32 Trace: X25Link Constructor: port 1 assigned to card 1
15:08:32 MDS is in service.
15:08:32 INRCEngine <DeviceID=5004> CONFIGURE_NIC_RESP error. error=1
ReportEvent failed. GetLastError returned 1502
15:08:42 INRCEngine <DeviceID=5004> CONFIGURE_NIC_RESP error. error=1
15:08:52 Routing Client 5005 configuration changed. op=1
15:08:52 Routing Client 5005 Started.
15:08:56 INRCEngine <DeviceID=5004> ONLINE.
15:08:56 Starting network communications.
15:08:56 SPRGATE ONLINE.
```

注: この例は 1 枚のカード、1 ポートおよび 1 SCP のための情報を示したものです。

SCP シミュレーター テスト

ルータの接続テストは X.25 リンクをテストしないし、NIC およびルータを通して X.25 ネットワークトラフィックを駆動しません。SCP シミュレーターの使用と追加テストを行うことができます。 [図 14](#) セットアップを表示します。

図 14 : NIC シミュレーション セットアップ



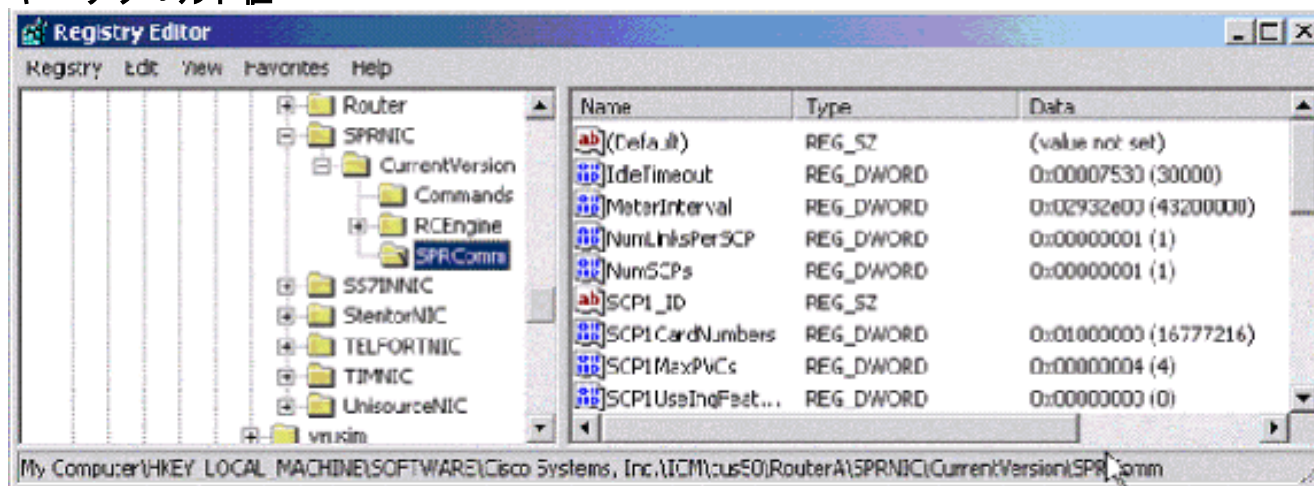
注: このシミュレーターは 1 Eiconcard 上の NIC と SCP シミュレーターを実行するために設定されました。

SCP シミュレーターは NIC に類似したです。SCP シミュレーターは同じプラットフォームで動作し、NIC と X.25 同じソフトウェアコンポーネントのほとんどを使用します。SCP シミュレーターは X.25 10 までリンクおよび 5 Eiconcards がある場合があります。リンクはこれらのケーブルのどちらかと 5 つの NIC リンクのそれぞれに接続されます:

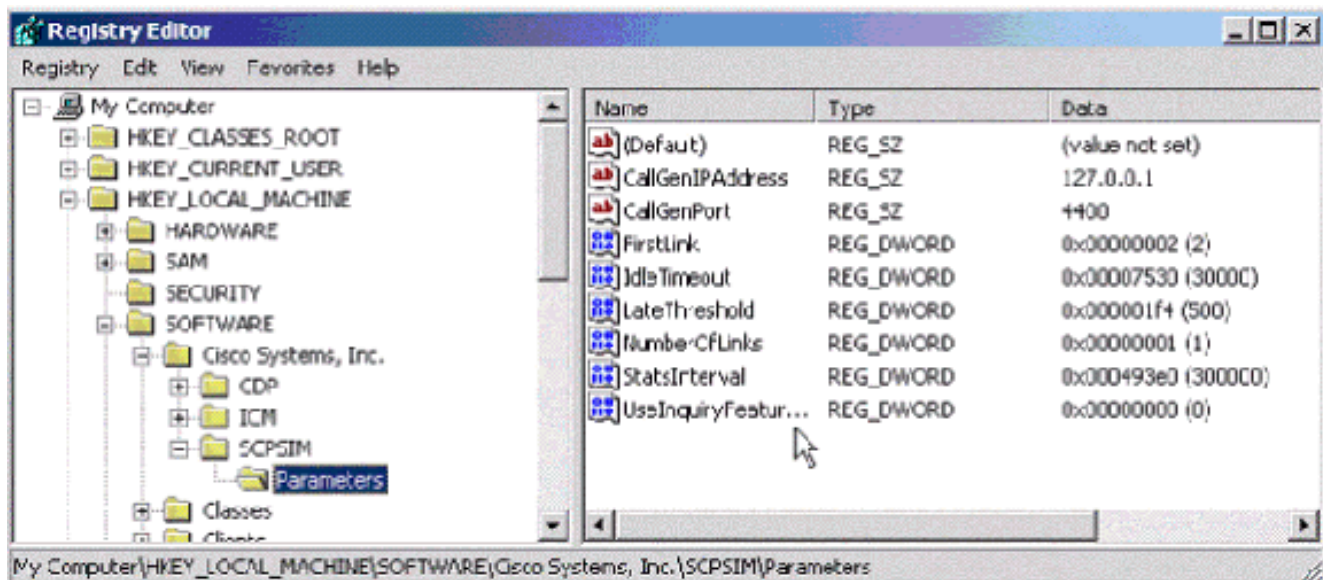
- V.24/V.35 彼のヌルモデムケーブル、Eicon テクノロジーが製造する部品番号 300-031、
- V.35 時間を記録することを提供する、モデム エリミネータに接続する V.35 規則的なケーブル

SCP シミュレーターを使用するためにこれらの追加コンフィギュレーションのステップを完了して下さい:

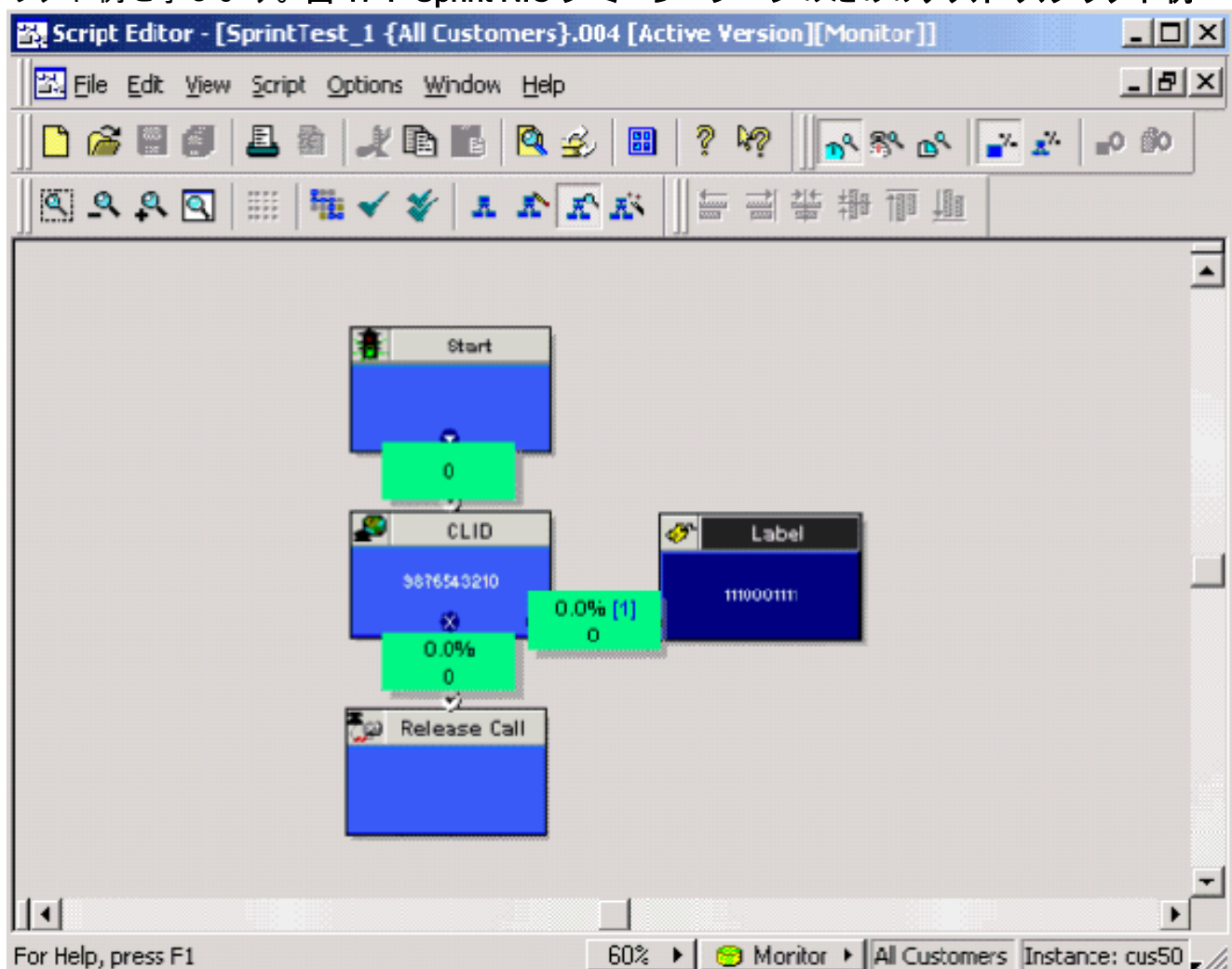
1. HKEY_LOCAL_MACHINE \\の下で SCP シミュレーター用のレジストリ サブ キー エントリを定義して下さい。
2. SCPSIM サブ キー デフォルト値を作成して下さい [図 15](#) 表示する。 **図 15 : SCPSIM サブ キー デフォルト値**



3. SCPSIM パラメータ サブ キー デフォルト値を作成して下さい [図 16](#) 表示する。 **図 16 : SCPSIM パラメータ サブ キー デフォルト値**



4. SCPSIM が DCE ノードタイプに使用する Eiconcard ポートを設定して下さい。
5. ICM スクリプト エディタの使用のルータ テスト スクリプトを作成し、インストールして下さい。ルート要求を使用し、SCP シミュレーターが生成する応答をルーティングするように設計されている顧客 システムのテスト スクリプトを作成して下さい。 [図 17](#) テスト スクリプト例を示します。 **図 17： Sprint NIC シミュレーションのためのテスト スクリプト例**



注: スプリント プロトコル 確認 テスト用に SCP シミュレーター テスト用のこのスクリプトを多分同様に最初に必要とし。 [スプリント リンク 確認 テスト](#) セクションを参照して下さい。

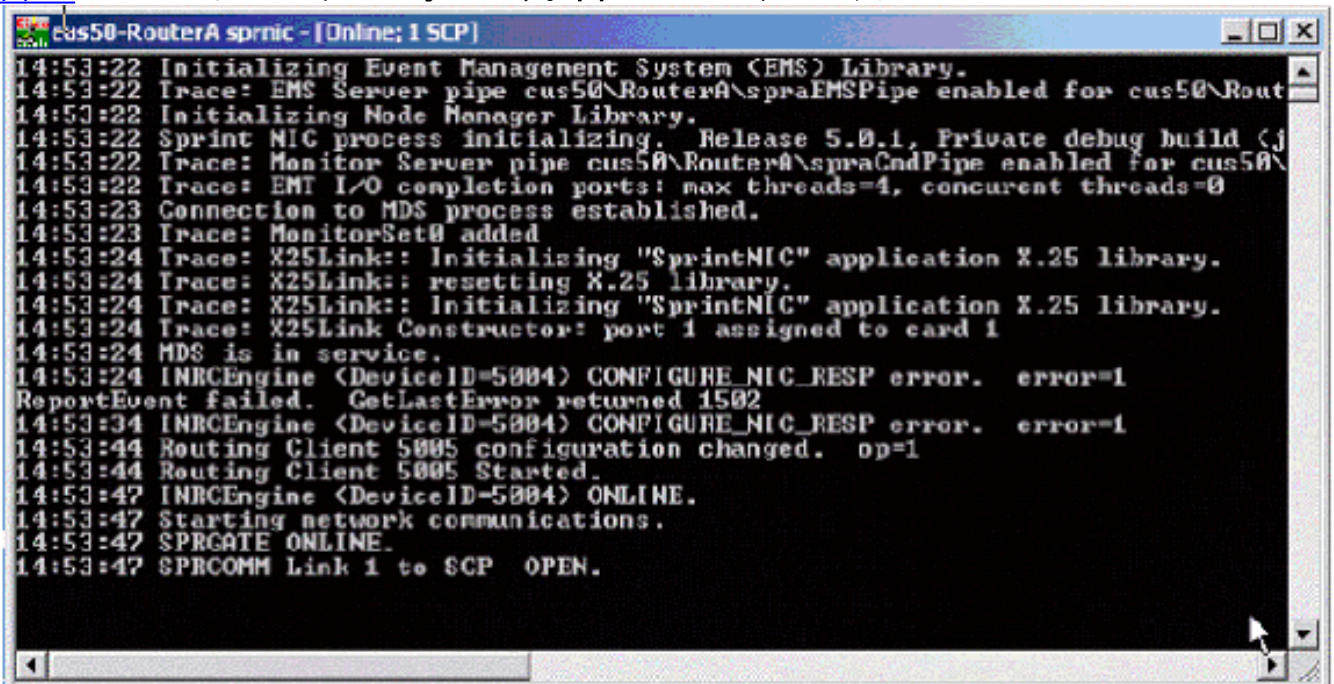
これらのコンフィギュレーションのステップを完了した後、SCP シミュレーター、NIC およびル

一々の使用とテストを実行できます。

1. ように ICM Central Controller Node Manager サービス実行して下さい。
2. SCP シミュレーターを開始し、ジェネレーター (CallGen) を呼出して下さい。

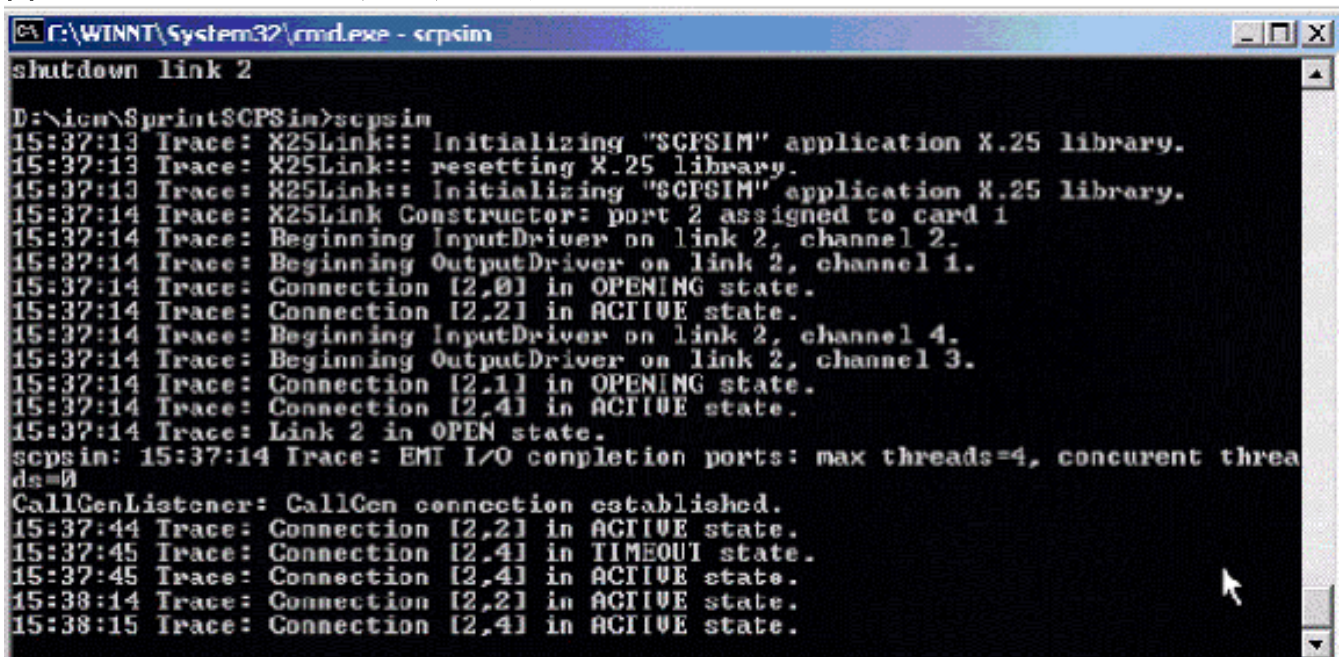
トラフィックは SCP シミュレーターから NIC ルータに今、逆順で背部再度フローし。これらの方法でテストの進行状況を監視できます:

- パフォーマンス統計情報があるように SCP シミュレーターを確認して下さい。SCP シミュレーターはメインスクリーンの統計情報に 5 分毎に報告します。SCPSIM レジストリ サブキーの StatsInterval パラメータを設定したかによって決まるタイムインターバルは異なることができます。
- Administrative Workstation (AW) からのスクリプトモニタ 機能を使用して下さい。
- NIC および SCP シミュレーターのメインスクリーンを視聴して下さい。 [図 18](#) NIC を示し、 [図 19](#) SCP シミュレーターを示します。 [図 18](#): NIC プロセス



```
cus50-RouterA sprnic - [Online; 1 SCP]
14:53:22 Initializing Event Management System (EMS) Library.
14:53:22 Trace: EMS Server pipe cus50\RouterA\spraEMSPipe enabled for cus50\RouterA
14:53:22 Initializing Node Manager Library.
14:53:22 Sprint NIC process initializing. Release 5.0.1, Private debug build (j
14:53:22 Trace: Monitor Server pipe cus50\RouterA\spraCndPipe enabled for cus50\RouterA
14:53:22 Trace: EMT I/O completion ports: max threads=4, concurrent threads=0
14:53:23 Connection to MDS process established.
14:53:23 Trace: MonitorSet0 added
14:53:24 Trace: X25Link:: Initializing "SprintNIC" application X.25 library.
14:53:24 Trace: X25Link:: resetting X.25 library.
14:53:24 Trace: X25Link:: Initializing "SprintNIC" application X.25 library.
14:53:24 Trace: X25Link Constructor: port 1 assigned to card 1
14:53:24 MDS is in service.
14:53:24 INRCEngine (DeviceID=5004) CONFIGURE_NIC_RESP error. error=1
ReportEvent failed. GetLastError returned 1502
14:53:34 INRCEngine (DeviceID=5004) CONFIGURE_NIC_RESP error. error=1
14:53:44 Routing Client 5005 configuration changed. op=1
14:53:44 Routing Client 5005 Started.
14:53:47 INRCEngine (DeviceID=5004) ONLINE.
14:53:47 Starting network communications.
14:53:47 SPRGATE ONLINE.
14:53:47 SPRCOMM Link 1 to SCP OPEN.
```

図 19: SCP シミュレーター プロセス



```
C:\WINNT\System32\cmd.exe - scpsim
shutdown link 2
D:\icm\Sprint\SCPSim>scpsim
15:37:13 Trace: X25Link:: Initializing "SCPSIM" application X.25 library.
15:37:13 Trace: X25Link:: resetting X.25 library.
15:37:13 Trace: X25Link:: Initializing "SCPSIM" application X.25 library.
15:37:14 Trace: X25Link Constructor: port 2 assigned to card 1
15:37:14 Trace: Beginning InputDriver on link 2, channel 2.
15:37:14 Trace: Beginning OutputDriver on link 2, channel 1.
15:37:14 Trace: Connection [2,0] in OPENING state.
15:37:14 Trace: Connection [2,2] in ACTIVE state.
15:37:14 Trace: Beginning InputDriver on link 2, channel 4.
15:37:14 Trace: Beginning OutputDriver on link 2, channel 3.
15:37:14 Trace: Connection [2,1] in OPENING state.
15:37:14 Trace: Connection [2,4] in ACTIVE state.
15:37:14 Trace: Link 2 in OPEN state.
scpsim: 15:37:14 Trace: EMT I/O completion ports: max threads=4, concurrent threads=0
CallGenListener: CallGen connection established.
15:37:44 Trace: Connection [2,2] in ACTIVE state.
15:37:45 Trace: Connection [2,4] in TIMEOU state.
15:37:45 Trace: Connection [2,4] in ACTIVE state.
15:38:14 Trace: Connection [2,2] in ACTIVE state.
15:38:15 Trace: Connection [2,4] in ACTIVE state.
```

フィールド インストール ステップ

ルータの接続を確認して下さい

カスタマー サイトで Central Controller Node Manager サービスの一部として Sprint NIC を開始して下さい。ルータがロガーからシステム構成を受け取った後、NIC はルータの接続テストに合格します。[ルータの接続テスト](#) セクションを参照して下さい。

X.25 リンクを接続して下さい

Cisco は 59 フィート V.35 を彼のモデムケーブル提供します。NIC DPNA カードから TP7 デバイスに V.35 ケーブルを接続して下さい。[通信リンク](#) セクションはこの接続を記述します。

1. 34 ピン V.35 コネクタ端に各ケーブルを分類して下さい。ラベルはリンク番号、SCP 位置およびスプリント ファイバ ネット 回線 番号を示す必要があります。注: スプリントからのスプリント ファイバ ネット 回線 番号を先立って得て下さい。たとえば、スプリントのリンク 1 ケーブルのためのラベルは「LINK 1、Burlingame SCP、スプリント ファイバ ネット 98/2:7:4、回線 #95XHGS441408」を読みます。
2. DPNA カード 1.のポート 1 にリンク 1 ケーブルの DB-26 終わりを接続して下さい。
3. Eiconcard 1.のポート 2 にリンク 2 ケーブルの DB-26 終わりを接続して下さい。
4. Eiconcard 2.のポート 1 にリンク 3 ケーブルを接続して下さい。5 つのリンクをすべて接続するまでこのプロセスを続けて下さい。シンプルックス ICM 設定の 10 のリンクをすべて接続して下さい。
5. TP7 デバイスが単一 チャネル バンク デバイスにケーブルを接続して下さい。NIC 位置が TP7 デバイスからの 10 フィート以上ある場合、責任は必要の V.35 追加ケーブル接続を提供することです。注: インストールの前にこの責任をよく理解しておいて下さい。

スプリント ファイバ ネット リンクはインストールの時にライブまたはライブである場合もあります。ファイバ ネット リンクが現時点でライブおよび行ける稼働中リンクはトラフィックを運びません。スプリントはリンク 確認 テストの後やっとトラフィックフローを有効にするかもしれません。場合によっては、TP7 デバイスは NIC インストールの時に設定されていません。この場合、顧客 datacomm 技術者と話して下さい。ケーブルを datacomm 技術者に示し、ケーブル以降の接続を有効にするためにラベルを説明して下さい。

スプリントは確認 テストをリンクします

スプリントはリンクにトラフィックフローの前にプロトコル 確認 テストを行うように要求できません。テストはインストールプロセスの一部ではないし、インストールの時にテストを完了できません。ただし、インストールの間に、テストを実行するためにこれらの前提条件を達成して下さい:

- NIC および Central Controller のインストールおよび設定
- TP7 またはチャンネルバンクへの NIC の接続注: この接続以降を行うことができます。
- ルーティング テストを行うテスト スクリプトの Central Controller のアベイラビリティ注: 通常、このスクリプトは SCP シミュレーター テストの間に先立ってチェックされます。スプリントはルート応答で戻るテストおよびラベル用のダイヤル番号を知る必要があります。

注: リンク 確認 テストに関しては、Peripheral Gateway (PG) は Central Controller と通信する必要はありません。

Windows NT 4.0 サーバソフトウェア ソフトウェア インストールのための Eiconcard 接続

いくつかのより早い ICM システムは Windows NT 4.0 サーバを実行するハードウェアプラットフォームで Sprint NIC をインストールするように要求できます。ポートコンフィギュレーションおよび ICM コンフィギュレーションが基本的には同じであるが、Eiconcard ドライバのインストールは異なります。

注: Eiconcard ポートコンフィギュレーションのために [図 4](#) 参照して下さい。

Windows NT 4.0 サーバでインストールするためにこれらのステップを完了して下さい:

1. 利用可能な 3.5V 64 ビット PCI スロットに DPNA カードを挿入して下さい。
2. CD-ROMドライブに Eicon ユニバーサル接続スイート CD を挿入して下さい。
3. [Start] > [Control Panel] を選択します。
4. **ネットワーク**をダブルクリックして下さい。
5. **Adapter** タブをクリックして下さい。
6. [Add] をクリックします。Select Network Adapter ウィンドウは表示する。
7. **Eicon WAN アダプタ**を選択し、『OK』をクリックして下さい。
8. パスを入力するプロンプトで **windows nt 4.のための d:\windows\nt4\connections** を入力して下さい。注: 「d:」CD-ROMドライブに対応します。
9. **Eicon (S シリーズ、C シリーズ、他)** を選択して下さい。
10. または**手動**『Automatic』を選択して下さい。注: 自動ならカードを、『Manual』を選択し
ます見つけません。検出するか、または選択されるドライバは Eiconcard S94 です。
11. インストールの他を完了するためにウィンドウの手順に従って下さい。

関連情報

- [Cisco ICM Software Configuration Guide](#)
- [テクニカルサポートとドキュメント - Cisco Systems](#)